

美里かぼちゃ栽培始まる — 美里かぼちゃ研究会発足！ —

「美里かぼちゃ」は美里町が農家の所得向上や耕作放棄地の解消のため町が主導し平成20年から栽培が始められました。同町では種子や肥料などの資材を助成し、町の特産農産物としてブランド化を進めています。

美里かぼちゃの主要品種「くりゆたか」は栗を思わせるホクホク感のある甘みたっぷりのかぼちゃです。この美味しさを地元にも知ってもらおうと毎年小中学校にも学校給食のために贈っています。また、調理用のみならず、地元ではプリンや羊羹への加工品としても商品化されその美味しさが定着しています。

栽培は7月下旬に播種が始まり、10月下旬から収穫が行われます。糖度向上などのため一定の貯蔵期間を経て、一年で最も美味しいと言われている冬至の時期から年明け2月まで出荷が行われます。品質、出荷管理の徹底により、一定の品質を満たさないものは「美里かぼちゃ」のネーミングを使用しないなどの決まりを設け高品質なかぼちゃの出荷とブランドイメージの確立に心がけています。

栽培5年目となる今年6月、「美里かぼちゃ」が普及・定着してきたこともあり、さらなる振興を目指し「美里かぼちゃ研究会」が発足しました。今年度は46名の生産者、7.1haの面積で栽培されます。



「美里かぼちゃ研究会」設立総会（6月）



「美里かぼちゃ」収穫（10月下旬～）